
大阪・関西万博奈良県実行委員会 第1回役員会 議事録（要旨）

- 1 日 時：令和6年4月17日（水）15時55分～16時25分
- 2 場 所：リガーレ春日野 2階 畝傍の間
- 3 出席者：別紙のとおり
- 4 議 事
第1号議案 大阪・関西万博奈良県実行委員会事業実施計画案について
第2号議案 大阪・関西万博奈良県実行委員会令和6年度予算案について

事務局より第1号議案及び第2号議案について、説明

（議長）

第1号議案及び第2号議案につきましては、原案の通りご承認いただけますでしょうか。拍手をもってご承認いただけますでしょうか。

（全員から拍手あり）

ご承認いただきましたので第1号議案及び第2号議案については原案のとおり決定させていただきます。

以上で予定しておりました第1回役員会の議事はすべて終了いたしました。折角の機会でございますので、何かご意見、ご提案等はございませんか。

- 5 意見交換
（増田委員）

このような国際的なイベントがある場合は早くから旅行業者の方々が部屋を押さえにかかるのですが、現在そのような状況ではないと伺っております。

関西は関西復権ということで、この万博にすごく期待をしていますが、関東の状況がよく分からないので、その辺がわかれば教えていただきたいと思っています。

(事務局)

我々も把握してない状況です。本日の意見を博覧会協会の方にお伝えいたしまして、精緻な情報、タイムリーな情報等を集約いたしまして、会員の方々に共有できるよう取り組みます。

(小紫副会長)

先日、政府の万博関係の資料の中に「ポスト万博シティ」という言葉が入りまして、けいはんな学研都市がその1つの候補ではないかとの報道もございます。

知事がおっしゃったように、この万博を一過性のものにするのではなく、万博で示された様々な技術等が、ポスト万博シティとして、何かそのレガシーとして地域でも活かす可能性があれば、これは生駒市としても、考えていきたいと思っています。

ポスト万博シティの関係で、今、奈良県の方でつかんでいる情報や、レガシーを生かしていくような話、一過性じゃない、今後持続的な効果っていうの、やっていく、観光だけではない視点も必要と思いますが、何かあれば教えてください。

(事務局)

私共の方でもそういう新しい情報を把握しきれていないところがございます。これから実行委員会の設立した状況を博覧会協会にお伝えいたしまして、各省庁、博覧会協会等が取り組んでいる細かな情報を把握しまして共有させていただきます。

(山下会長)

新聞報道の限りですけれども、色々なパビリオンの建物を再利用すべきじゃないかという声が上がってます。協会としても、できる限りそうしたパビリオンの再利用を進めたいという意向を持ってまして、1970年の万博のときは、オランダかデンマークのテーマ館が、兵庫県かどこかの自治会の集会所になっているとのニュースがあったのですが、今後そうした動きが出てきた場合に、本県としても積極的にそういう建物の再利用等について、何か可能性がないかどうか探っていきたいということは考えております。

(水口委員)

3ページに記載がある「交通機関としての媒体告知」が非常に大切であると考えております。弊社も微力ながら、しっかり取り組んでまいりたいと存じます。

じます。

2ページ目に書かれているイベントの具体的な日程が確定するタイミングですとか、前広に情報を頂戴できますと、そうしたプロモーションを効果的に展開しますので、よろしくお願いします。

(山下会長)

ありがとうございます。2ページに書いてあるとおり、EXPO アリーナにおける本県の催事は、2025年5月27日から29日でこれは確定しております。比較的季節のいい時期に枠を取れたかなと思っております。

関西パビリオンの多目的エリアにつきましても、開幕直後の2週間という非常にいい時期を抑えられましたので、また確定をしましたら、JRの電車内での吊革広告その他を含めて、またご相談させていただくことがあろうかと思っておりますので、ぜひともよろしくお願いします。

(水口委員)

ありがとうございます。万博に来場された方を奈良にも来ていただくことが大切であると思っております。現在、大阪府内の自治体様・鉄道会社様とオールJRとで大阪に来ていただく「デスティネーションキャンペーン」の準備を進めています。そこからプラスワントリップで奈良にも来ていただくような流れを創ってまいりたいと思っておりますので、情報をいただきながら一緒に取り組みを進めてまいりたいと存じます。

(山下会長)

私が就任したときは、関西パビリオンに奈良県のみ展示ブースがなく、少し出遅れていましたが、約3,000万人が来場するこのチャンスを生かさない手はないなということで、巻き返しを図りまして、先程申しましたEXPOアリーナや関西パビリオン多目的エリアの展示に加え、本県出身の河瀬直美監督がテーマ事業プロデューサーを務めております、シグネチャーパビリオンとの連携事業も、実施の目処がついた次第です。

それから高科副事務総長からもご案内がありましたが、今年の参加国会議というのが、奈良県で開催をされます。これには誘致に力を入れまして、何とか奈良県への誘致が確定をしたわけでございます。このときVIPクラスが、沢山来られますので、奈良県で、宿泊とか飲食の経済効果を期待できるんじゃないかなと思っております。引き続き県としても全力で頑張っておりますので、実行委員の皆様のご理解とさらなるご協力のほどよろしくお願いします。